

(参考様式6)

事業活用活性化計画目標評価報告書

活性化計画名	小松島市坂野地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
徳島県（代表） 小松島市	360007 362034	1	平成 27 年度 ～ 平成 30 年度	平成 27 年度
活性化計画の区域				
徳島県小松島市坂野地区（活性化区域面積:925ha）				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率（%） B/A	備考
地域産物の販売量の増加	1002.00 %	702.57 %	70.11	

（コメント）

東とくしま農業協同組合坂野支所に胡瓜選果機一式を整備することにより、胡瓜販売量の増加を目指したところ、毎年の出荷量の増加には繋がった。

しかしながら、毎年2月以降にアザミウマなどの害虫が発生し、防除対策の対応の難しさから予定より収穫期間が短くなる場合があったことや、一時期の天候不順（曇天による日照不足）により生育遅延、樹勢不足が発生したことで収量が伸び悩み、目標値には達しなかった。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
28 農林水産物集出荷貯蔵施設	胡瓜選果機一式 (荷受設備、選別設備、箱詰包装設備、製品搬送設備、製函・配函設備、管理その他)		東とくしま農業協同組合
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
東とくしま農業協同組合	平成 27 年度	平成 27 年度	平成 27 年 11 月 25 日
事業の効果			
選果機の導入により胡瓜の品質向上に繋がり、実需者への販売量が増加したことで、地域農家の安定的な農業経営につながると共に、後継者としての担い手の確保など、本地区の農業の持続に効果があった。			

### 3 総合評価

(コメント)

胡瓜の品質は以前よりも高評価となっており、実需者向けの出荷も定着しているが、想定外の天候不順により収穫量が安定せず、結果的に出荷量が目標に達していない。

しかしながら、以前よりも高単価かつ安定した取引が行われることで、地域農家の経営安定化にはつながっており、農業の継続には寄与していると言える。

今後は「安定した収量」を目指すため、土作りや品種の検討、天敵導入による病害虫防除の軽減等を推進する。

### 4 第三者の意見

(コメント)

後継者が確保されている、という点が高く評価できる。

また、胡瓜の生産には大変な労力がかかることから、全国的に見ても生産が減少しているという状況の中、胡瓜生産の体制維持、安定的な生産を行っており、取引相手からもその点を評価されているのではないかと考える。

(徳島県農林水産関係事業適正化委員会)

#### 【記入要領】

(1)計画主体コード、計画番号は年度別事業実施計画に記入した番号とすること。

(2)「1 事業活用活性化計画目標の達成状況」のコメントには、目標が未達成となった場合は、その理由を記入すること。また、達成状況が低調である場合は実施要領第8の2の(1)及び(2)に基づき改善計画を作成し、農林水産大臣に提出すること。

(3)「2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果」は、事業メニュー毎に作成すること。また、「事業の効果」には事業の実施により発現した効果(農山漁村の活性化に関連する効果)を幅広く記入すること。